

様式6

平成17年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 研究種目名 特定共同研究 (A) 2. 課題番号 2005-A-06

3. 研究課題(集会)名 和文: サブダクション・ゾーン陸側の重力変化の追跡
英文: Gravity change along the coast of subduction zones

4. 研究期間 平成17年4月 1日 ~ 平成18年 3月31日

5. 研究場所 静岡県、愛知県、宮崎県

6. 研究代表者所属・氏名 地震研究所・大久保 修平
(地震研究所担当教員名) 大久保 修平

7. 共同研究者・参加者名

共同研究者名	所属・職名	備考
山内常生	名古屋大学大学院環境学研究科・助教授	
大志万 直人	京都大学防災研究所・教授	
寺石眞弘	京都大学防災研究所・助手	
園田保美	京都大学防災研究所・技術員	
大久保修平	東京大学地震研究所・教授	
孫 文科	東京大学地震研究所・助教授	
古屋正人	東京大学地震研究所・助手	
松本滋夫	東京大学地震研究所・技術職員	
菅野貴之	東京大学地震研究所・研究員	

8. 研究実績報告(成果)(別紙に作成)

10・成果公表の方法(投稿予定の論文タイトル、雑誌名、学会講演、談話会、広報等)

(1) 第165回地震予知連絡会報告.

御前崎における絶対重力変化、豊橋における絶対重力変化.

(2) 第167回地震予知連絡会報告.

御前崎における絶対重力変化、豊橋における絶対重力変化.

(別紙)

研究実績報告書 (成果)

当初計画に従って、九州南部日向地方の沈み込み特性を調べるために、京都大学防災研究所と共同で、2005年11月に京都大学防災研究所宮崎観測所において、第1回目の絶対重力測定を実施した。同時に、周辺の電子基準点等で相対重力測定を実施した。この測定によって、数年内に行う予定の再測定結果をもとに、日向灘のサブダクションによる重力変化について議論できるようになる。

1997年以来実施してきた御前崎（下図 OMZ）および2004年以来実施してきた豊橋（下図 THY）での絶対・相対重力を、名古屋大学と共同で今年度も2回実施した。御前崎における観測結果を図に示す。御前崎が年間1cm程度で定常的に沈降しているのに、重力はそれに追従していない様子が見て取れる。

